

## 【12 事業計画】

・就労継続支援事業所においては、仕事を創造することが事業所にとって重要である。一般住宅、空き家、福祉施設の管理業務や楽器のクリーニングの需要は、どのくらいあるのか。

→20年間のデイサービス、居宅支援事業所、33年間の楽器事業の付き合いでの中の営業をやって行く。管理業務については有限会社ムジカと合意している。楽器業務については現在9件問い合わせがある。

・管理業務について、現在は同系列の福祉施設等が主であるが、今後どのような見通しで業務を拡充していくのか。(管理業務班と楽器作業班と分かれてする場合の職員配置等)

→作業内容に応じた増員と配置を実施してゆく。20年来お付き合いした福祉施設に順次仕事の依頼をしていく。

・3提供サービスの目的で、対象を「一般企業等の雇用が難しい方」としているが、学校卒業後B型に行くのは基本出来ない。そうした方を対象とするのであれば就労移行支援事業が妥当ではないかと思うが、就労継続支援B型を選んだ理由を教えてください。

→当初は就労移行支援事業所の開設も検討していたが、支援内容(対象者、目的等)が引きこもりの方への外出の動機付けや、人材の適材等を考慮し就労支援B型を選択した。

## 【13 利用者処遇】

・放デイを利用する利用児や保護者からのニーズが高いため、事業設立に向けたとあるが、B型は就労経験がある方で、継続就労が困難だった方が対象であるため、ニーズの詳細を知りたい。また、事業所内だけでは支援が難しいケースに対しての連携体制について考えを示すこと。

→保護者から卒業後の支援についての希望は今までよく耳にしていたが、対象とするのは当社の現利用者だけではなく幅広い方々への支援も考えている。保護者からは卒業後の余暇特に音楽に触れる機会がなくなるのでそういった場所を求めておられた。

相談支援事業所等、他の機関との連携を考えている。現在指定が降りていない段階なので、こちら側から積極的なアプローチは控えている状況です。

・作業だけでなく、音楽療法を通して仲間意識や音楽の幅を広げるなど、利用者の方にとっては恵まれた環境だと考える。音楽療法を地域の方や同じB型事業所と共有する機会があるか。

→毎年、公民館行事や、町内会のサロンに出かけています。他のB型事業所との共有は前向きに検討します。

・就労意欲へのきっかけの一つとして、音楽活動や音楽療法の専門的経験を活かした日課が

継続できればと思うが、1日2時間以上の就労活動を求められるケースも出てくるのではと考えられる。7.5対1の常勤換算数を満たすだけでなく、柔軟な職員配置も視野に入れて事業に挑んでほしい。

→就労時間、職員配置ともにご指摘のとおり柔軟に対応してゆく

・利用者が就労継続支援B型を利用するまでの流れについて、どのような想定をしているか。(就労移行支援事業所との連携等)

→移行支援、関連支援機関等との連携をとりながら進めて行きたい

・各作業に対する対象者(どの作業をどのような方に提供するのか)について考えを示すこと。

→一人一人の希望に沿った作業を提供することを基本とします。